

平成30年度（平成29年度実績）

教育委員会の点検・評価報告書

葛尾村教育委員会

平成30年12月

目 次

1, 教育委員会の点検と評価制度の概要	・ ・ ・ ・ ・ 1
1) 趣旨	
2) 実施方法	
3) 報告書の作成	
2, 教育委員会の活動状況	・ ・ ・ ・ ・ 3
1) 教育委員の定数等の状況	
2) 教育委員の研修会参加状況	
3) 教育委員会の会議の開催状況	
4) 教育委員会の会議の公開状況	
5) 議案の審議状況	
6) 教育委員の学校・社会教育施設の訪問状況	
7) 情報提供の状況	
8) 教育委員会事務局等の体制	
3, 平成29年度教育委員会重点施策に関する事務事業評価一覧	・ ・ ・ ・ ・ 12
4, 平成29年度葛尾村教育委員会重点施策の点検・評価シート	・ ・ ・ ・ ・ 14
総務学校教育係	
社 会 教 育 係	
5, 総合評価並びに評価結果の総括	・ ・ ・ ・ ・ 31

1, 教育委員会の点検と評価制度の概要

1) 趣 旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検と評価を行い、その結果に関する報告書を作成して、議会に報告するとともに、公表することが義務付けられました。

葛尾村教育委員会では「教育委員会の活動状況」及び「教育委員会が定めた重点施策に関する点検・評価の結果」に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することにより、村民への説明責任を果たし、村民に信頼される教育行政を推進してまいります。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（同条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員に等に委任された事務を含む。）の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2) 実施方法

(1) 点検・評価の対象は、毎年度策定する「重点施策」とします。

重点施策に関する事務事業について一覧表を作成し、それぞれについて点検評価シートを作成します。

(2) 点検・評価は、当該年度の施策・事業の進捗状況を総括するとともに、課題や今後の取組の方向性を示すものとし、毎年1回実施します。

(3) 施策・事業の進捗状況をとりまとめ、学識経験者の意見を聴取した上で、教育委員会において点検・評価を行います。

(4) 教育に関し学識経験を有する方々の知見の活用を図るため、「点検・評価に関する有識者会議」を開催します。

「点検・評価に関する有識者」は、葛尾小・中学校 PTA 会長、社会教育委員長、民生児童委員協議会長、行政区長会長の5名をもって充てます。

(5) 教育委員会において点検・評価を行った後、その結果を取りまとめた報告書を葛尾村議会に提出します。

評価基準は次のとおりです。

A： 目標は、十分達成された。

B： 目標は、達成された。

C： 目標は、十分に達成できなかった。

D： 目標は、全く達成できなかった。

3) 報告書の作成

(1) 教育委員会の活動状況

次の事項について議会に報告するとともに、一般に公表します。

- ① 教育委員の定数等の状況
- ② 教育委員の研修会参加状況
- ③ 教育委員会の会議の開催状況
- ④ 教育委員会の会議の公開状況
- ⑤ 議案等の審議状況
- ⑥ 教育委員の学校・社会教育施設の訪問状況
- ⑦ 情報提供の状況
- ⑧ 教育委員会の事務局の体制

(2) 点検・評価の結果

次の事項について結果を議会に報告するとともに、一般に公表します。

葛尾村教育委員会の重点施策

- ① 「生きる力、生き抜くの育成」を基本理念におき、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視した人材の育成
- ② 個性豊かな創造力を持ち、思考力、判断力、表現力に富み、自ら学び考え、行動する人材の育成
- ③ コミュニティーづくりの推進
- ④ 多様な生涯学習機会の確保
- ⑤ スポーツ・レクリエーション活動の推進
- ⑥ 芸術・文化意識の高揚と活動の促進
- ⑦ 歴史・文化遺産の保存

2、教育委員会の活動状況

1) 教育委員の定数等の状況

単位：人(平成30年3月31日現在)

人 数	性 別		4 0 代		6 0 代		7 0 代	
4 (1)	男 3(1)	女 1(0)	男 1(1)	女 0(0)	男 2(0)	女 1(0)	男 0(0)	女 0(0)

※ () は内数で、保護者である委員

2) 教育委員の研修会参加状況

単位：回

主 催 別	全 国	東北六県	県	浜通り	双葉支会	村
教育委員	0	0	2	0	2	0
教 育 長	1	0	2	0	2	0

3) 教育委員会の会議の開催状況

	定 例 会	臨 時 会
開催回数	1 0 回	1 回

4) 教育委員会の会議の公開状況

傍 聴 者 数	0 人
傍聴者が1人以上の会議の回数	0 回

5) 議案の審議状況

開催月	議案番号	件 名
臨時 (4月)	報告 2	教育長職務代理者の指名について
	3	教育委員会事務局職員の任免について
	4	教職員の人事異動発令について
	5	葛尾村立葛尾幼稚園養護教諭の任免について
	議案 9	葛尾村社会教育委員の委嘱について

		1 0	葛尾村文化財保護審議会委員の委嘱について
		1 1	葛尾村スポーツ推進委員の委嘱について
		1 2	平成 2 9 年度学校医等の任命について
4 月	報告	6	平成 2 9 年度校務運営について
		7	葛尾村学校給食三春センター調理業務委託契約の締結について
		8	スクールバス運行業務委託契約について
		9	かつらお村営塾業務委託契約について
		1 0	外国語指導助手業務委託契約について
		1 1	葛尾村立学校ICT支援員業務委託契約について
		1 2	葛尾村立学校における放課後子ども教室学習支援員の任命について
			教育長の諸報告について
5 月	報告	1 3	平成 2 8 年度学校給食事業及び収入支出状況について
		1 4	葛尾村学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
	議案	1 3	平成 2 9 年度学校給食費単価について
			教育長の諸報告について
6 月	報告	1 5	葛尾村学校プール外構工事請負契約について
	議案	1 4	平成 2 9 年度葛尾村一般会計補正予算（6 月）について
		1 5	葛尾村での幼稚園、小・中学校再開に向けた作業工程について
		1 6	葛尾村での幼稚園、小・中学校再開に関する意向調査について
		1 7	葛尾村教育復興推進助成事業要綱の制定について
			教育長の諸報告について
8 月	報告	1 6	葛尾中学校外構工事請負契約について
		1 7	葛尾中学校校舎内装工事請負契約について
		1 8	葛尾村学校プール備品購入契約について
		1 9	葛尾小学校校舎カーテン等備品購入契約について
		2 0	葛尾中学校校舎カーテン等備品購入契約について

	議案 18	平成30年度使用教科用図書の選定について
		教育長の諸報告について
9月	報告 21	決算審査の結果報告について
	22	葛尾村郷土文化保存伝習館修繕工事（建築）請負仮契約について
	23	葛尾村郷土文化保存伝習館修繕工事（電気設備）請負契約について
	24	葛尾村郷土文化保存伝習館修繕工事（機械設備）請負契約について
	25	葛尾村郷土文化保存伝習館修繕工事施工監理業務委託契約について
	議案 19	平成29年度葛尾村一般会計（9月）補正予算について
	20	平成28年度教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価方針について
	21	平成28年度教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価について
		教育長の諸報告について
10月	報告 26	葛尾村健康増進センター太陽光発電設備設計業務委託契約について
	27	葛尾幼稚園屋外環境整備工事請負契約について
	議案 22	葛尾村立葛尾中学校の外部指導員に関する要綱について
		教育長の諸報告について
11月	報告 28	葛尾村健康増進センター太陽光発電設備設置工事請負契約について
		教育長の諸報告について
12月	報告 29	葛尾村大尽屋敷跡公園石積み修繕工事請負契約について
	議案 23	第17回子ども国内交流体験研修派遣事業の実施について
	24	平成29年度葛尾村一般会計12月補正予算（教育費）について
	25	平成28年度教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書について
		教育長の諸報告について

1 月	議案	1	平成 3 0 年度葛尾村教育行政執行方針について
		2	平成 3 0 年度教育委員会社会教育方針について
		3	平成 3 0 年度学級編制等について
		4	平成 3 0 年度入学者数等について
			教育長の諸報告について
3 月	報告	1	葛尾村郷土文化保存伝習館修繕工事（建築）請負変更契約について
		2	葛尾村郷土文化保存伝習館修繕工事（設備）請負変更契約について
	議案	5	平成 2 9 年度葛尾村一般会計 3 月補正予算（教育費）について
		6	平成 3 0 年度葛尾村一般会計当初予算（教育費）について
		7	葛尾村一時預かり事業実施要綱の制定について
			教育長の諸報告について

6) 教育委員の学校・社会教育施設の訪問状況

施設名	幼稚園	小学校	中学校	郷土文化保存伝習館	健康増進センター	公民館	学校給食センター
実施日	0	0	0	0	0	0	0
参加人数	0	0	0	0	0	0	0

7) 情報提供の状況 広報かつらお

5 月 1 日 発行	教育委員会だより [第 1 号] ・教育長就任挨拶 ・平成29年度葛尾村立学校特色ある教育について 3 月 24 日～28 日 「FCTおきなわ遊・YOU塾」参加者小学生 2 人の思い出や感想紹介 4 月 6 日 葛尾小学校・中学校三春校の合同入学式行われ、小学校 3 名、中学生 3 名が入学 4 月 8 日～9 日 浪江町「絆さくらの会」葛尾小学校の桜せん定 4 月 10 日 葛尾幼稚園三春園舎の入園式が行われ、4 名の新園児が入園
---------------	---

6月1日 発行	教育委員会だより〔第2号〕 ・学校施設見学会が開催されました →4月30日 修繕・改修工事完成に伴い、見学会が行われ13組40名参加 ・幼稚園・小学校・中学校のあれこれ ～4・5月編～ →授業参観風景（小）・こいのぼり作成（幼） ・小学生スイミングスクールいよいよ開始!! 4月8日 わんぱく教室開講式と移動学習を行い、コミュタン福島で環境学習、ミュージアム福島さくら遊学舎等を8人が見学 4月18日 女性学級開講式、移動学習を行い、23人の教室生が押切川公園のしだれ桜並木や大内宿を見学 4月23日 ふれあい教室、花満開の福島市花見山のハイキングに28人が参加 5月9日 旧中郷小グラウンドで、村民グラウンドゴルフ大会が開催され42人が参加 5月18日 村のこれからについて勉強（中学校） ・第22回村民インディアカ大会参加者募集
7月1日 発行	教育委員会だより〔第3号〕 ・震災後、初となる村内での授業に密着 →5月18日 中学生12名が役場等で復興について学び、復興に向けた政策を考え発表 →6月8日 小学生9名が本校や地域への関心を高める「ふるさと学習」を行った。 5月18日 寿学級開講式、移動学習を行い、33名の教室生が小名浜魚市場や沼の内弁財天を見学 5月28日 葛尾小中学校三春校校庭において「かつらお村民運動会2017」が行われ約400人の児童生徒や村民で賑わった。 6月18日 葛尾小中学校三春校体育館で第22回村民インディアカ大会を12チームの参加により開催 6月24日 わんぱく教室、ほたるの里荒井農場（会津若松市）でさくらんぼ狩りを体験 ・ふくしま駅伝「希望ふくしま」参加者募集 ・夏季親善野球大会 参加チーム募集（会場 村民グラウンド） ・双葉郡中高校流会参加者募集（郡山中央公民館） 教育委員会だより〔第4号〕 ・花いっぱい学校で待っています →6月19日 第50回花いっぱいコンクールに向け、婦人会の12名が学校花壇の手入れを行った。 ・平成30年4月の学校再開に向けた今後の予定を掲載

8月1日 発行	教育委員会だより〔第5号〕 ・葛尾中学校 修学旅行日記 →6月27日～29日 関西方面 ・学校再開に向けた取り組み →7月4日 第1回学校再開検討委員会 ・公民館の活動報告 →パッチワーク教室（しみちゃんマスコット製作） 6月18日 鹿島中学校体育館で第43回相双地区スポーツ少年団剣道大会が開催され、小学生団体第7位で県大会出場を決めた。 7月9日 浪江町・広野町で双葉郡スポーツ交流大会、グラウンドゴルフ・野球・剣道競技に参加
9月1日 発行	教育委員会だより〔第6号〕 ・学校再開に向けた取り組み →7月4日 第1回保護者懇談会 ・葛尾小学校 宿泊体験学習 →7月13日～14日 郡山自然の家 ・葛尾村学校プール完成 →7月24日 小学生が初泳ぎ ・放課後子ども教室夏休み特別企画 →7月25日 パナソニックLEDあかりの工作教室 →8月8日 JICA国際理解講座 ・葛尾村盆踊りアートプロジェクト →7月31日 アートプロジェクトほたるの森の作品づくり行われた。 ・小学校絆づくり交流会 →8月10日 ビックパレットふくしまにて、双葉8町村の小学生対象で絆づくり交流会が行われた。 7月21日 寿学級移動学習 南会津町「奥会津博物館」見学、藍染めを体験 8月14日 恒例の盆野球夏季親善野球大会、葛尾村民グラウンドで4チーム約50名が参加して開催
10月1日 発行	教育委員会だより〔第7号〕 ・葛尾幼稚園 ダンスレッスンレポート →ヒップホップのダンス講師を招き、ダンスのレッスン ・学校施設除草ボランティア →役場職員が3日間で述べ50名で除草作業 ・オリジナル時計作りに大満足 →8月19日 葛尾小学校図工室にて、日本時計協会の指導のもと目覚まし時計を作成。 ・双葉郡中高校流会 →8月22日 宮本亜門（演出家）外4名の超一流の講師陣のワークショップに中学生13名が参加した。 ・葛尾・川内・富岡4校合同水泳記録会 →9月1日 川内村の小学校プールにて実施。 ・葛尾中学生徒会大活躍 →9月2日 郡山市「福島コトひらく」で開催された、双葉郡子供未来会議に参加。 9月16日・24日 市町村対抗県軟式野球大会が、本宮市しらさわグリーンパ

	ーク球場で行われ、初戦、猪苗代町に勝利。福島市営あづま球場で行われた第2回戦は、下郷町に惜敗。 ・かつらおスクールフェスタ開催（かつらお幼稚園、小・中学校学習発表会） ・平成30年度葛尾村での学校再開に係る意向調査結果について ・そうそう子供科学祭2017について
11月1日 発行	教育委員会だより〔第8号〕 ・葛尾小学校 親子運動・バルーン教室 →9月20日 二回目となる村の校舎での授業並びに授業参観 ・葛尾幼稚園 親子遠足 →9月29日 園児と保護者29名が栃木県宇都宮動物園に行ってきました。 ・新教育委員辞令交付式 →10月1日付けで、渡邊政廣さんが就任しました。 ・葛尾中学校 震災後初めての小学校へ →10月3日 村の校舎で初めての授業が実施されました。 ・公民館の活動報告 →わんぱく教室（年6回実施、10月7日はマリニピア日本海を見学） ・むらの図書館 リニューアルオープン！ →蔵書3,500冊 ・第29回ふくしま駅伝大会直前情報 →希望ふくしまチームとして、葛尾村・檜枝岐村・湯川村・三島町・金山町・川内村の7町村合同チームでタスキを繋ぎます。 ・葛尾校花いっぱい運動 参加ご協力をお願いいたします。 ・平成30年度葛尾幼稚園 園児募集
12月1日 発行	教育委員会だより〔第9号〕 ・さつまいも掘り&おいもパーティー →10月16日・27日 さつまいもの収穫とおいもパーティーが行われました。 ・かつらおスクールフェスタ2017 →10月21日 今年度で閉校する三春校における最後の学習発表会が開催されました。 ・葛尾小学校就学旅行 in 東京 →10月28日 東京タワーを自分の足で昇る！ ・むらの図書館 むらの図書室でベスト1の図書（名付けてムラベス）を不定期で紹介 ・アスレチックコースの除染が完了しました。 11月19日 第29回ふくしま駅伝 希望ふくしま、総合33位と健闘しました。 1区 木戸美帆さん25位、10区 玉木章吾さん32位
1月1日 発行	教育委員会だより〔第10号〕 ・ようちえんまつり →11月16日 保護者や来年度入園を希望している親子が招待され、ダンスなどが披露されました。 ・花いっぱい運動 →11月17日・12月1日 村での入学式・入園式に子どもたちをたくさんの花で迎えるため、保護者や住民のご協力をいただき、小学校花壇にチューリップの球根などを植えることができました。 ・葛尾小 茶道教室 →12月4日 外部講師をお招きし、礼儀やお菓子のいただき方など、日本

	伝統文化に触れることができました。 ・学校再開に向けた取り組み →12月6日 村での学校再開に向け、小学校・幼稚園の片付け作業をしました。 ・ふるさと創造学サミット →12月9日 自ら未来を切り拓く力と、ふるさとへの誇りを育むことを目的としてビックパレットにて行われました。 11月19日 第29回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会 ふくしま駅伝特集 →たくさんの感動をありがとう。 →村の代表選手・コーチより、コメントが届いています！ →総勢11名によるかつらお応援団 11月25日 三匹獅子舞を披露 ふるさとのまつり2017in浪江 11月26日 ソフトバレーボール大会開催 葛尾小学校体育館において、かつらおスポーツクラブ主催で開催 11月28日・30日 恵下越集会所及び村民会館大ホールにて、日本フィルハーモニー交響音楽 12月7日 全国中学生人権作文コンテスト 奨励賞を受賞
2月1日 発行	教育委員会だより〔第11号〕 ・葛尾キッズクラブ →12月15日 パナソニック主催の「LEDあかりの親子工作教室」が開催されました。 ・学校再開に向けた取り組み →12月17日 第3回保護者説明会、教育の内容や教室の配置、スクールバスの運行計画などの説明を行いました。 ・第42回新春バレーボール大会 →1月7日 震災後初めて村内で開催され、葛尾中学校体育館のこけら落としも兼ねた大会で、9チーム計100名が出場し熱戦を繰り広げました。 ・むらの図書館 今回のむらの図書室でベスト1の図書(名付けてムラベス)は、おかあさんおめでとです。 ・葛尾幼稚園、葛尾小学校、葛尾中学校再開に向けた、村民総ぐるみ企画「おかえりなさい運動」はじまります。 12月10日 民謡教室 村指定グループホーム「楓」にボランティア慰問を行いました。 12月23日 葛尾少年剣道団「創立35周年記念葛尾村剣道錬成大会」を葛尾小中学校三春校体育館にて7団体約150名が参加して開催、剣道団の育成に尽力された方々に感謝状が贈呈されました。 1月2日 平成30年度葛尾村成人式を村民会館で開催、12名が県内外から集まり新成人の門出を祝う。
3月1日 発行	教育委員会だより〔第12号〕 ・雪遊び・スキー体験教室 →1月27日・28日 わんぱく教室に参加している小学生9名が、雪遊びやスキーを体験してきました。 ・針供養で裁縫の上達を祈る

	→ 2月7日 パッチワーク教室で、針への労をねぎらい裁縫の上達を祈りました。 ・ブリティッシュヒルズ宿泊研修 → 異国文化体験交流活動に、小・中学生6名が参加してきました。 ・むらの図書館 新本大量入荷しました! ・平成30年度村立幼稚園・小・中学校、園児・児童・生徒数 → 幼稚園4名、小学校7名、中学校11名、合計22名 2月2日 葛尾幼稚園でのまめまき 2月18日 公民館まつり2018 葛尾村村民会館で開催され、約300人が訪れ盛況となりました。
4月1日 発行	教育委員会だより〔第13号〕 ・葛尾幼稚園、葛尾小学校、葛尾中学校 祝 ご卒園・ご卒業 → 幼稚園2名(3月16日)、小学校1名(23日)、中学校5名(13日)の卒園式・卒業式が行われました。 ・仮設校舎(三春校)閉校・閉園式 → 3月23日 平成25年4月に開校し、5年にわたる三春町要田での教育活動に幕を閉じました。 3月10日 安倍晋三内閣総理大臣来村 葛尾小学校で住民と意見交換 小・中学校の校長先生、小・中学生の親子2組と車座になって意見を交換しました。

8) 教育委員会事務局等の体制

(単位：人)

	職 員 数		
	非 常 勤	常 勤	委 託
事 務 局	0	3	0
公 民 館	0	1	1
幼 稚 園	0	2	1
小 学 校	0	0	2 (外部1)
学校給食センター	0	0	2 (外部2)

3, 平成29年度 教育委員会重点施策に関する事務事業評価一覧

番号	重点施策名	事務事業	評価	評価担当係	備考
1	「生きる力、生き抜く力」を基本理念におき、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視した人材の育成	①小・中・教委管理者会議の開催	A	総務学校教育係	
		②子供国内交流体験研修派遣事業（おきなわ遊・Y O U 塾）	A	総務学校教育係	
		③スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの配置	A	総務学校教育係	
		④児童生徒の健康管理（心電図・寄生虫・尿検査）	A	総務学校教育係	
		⑤かつらお村営塾 放課後子ども支援事業	A	総務学校教育係	
		⑥学校給食安心対策事業	A	総務学校教育係	
		⑦幼稚園仮設園舎賃貸借	A	総務学校教育係	
		⑧葛尾村教育復興推進事業（スイミングスクール）	A	総務学校教育係	
2	個性豊かな創造力を持ち、思考力、判断力、表現力に富み、自ら学び考え行動する人材の育成	①奨学資金貸与事業	A	総務学校教育係	
		②就学援助事業（被災児童生徒支援）	A	総務学校教育係	
		③スクールバス運行业務委託事業	A	総務学校教育係	
		④教育環境施設整備事業	B	総務学校教育係	
		⑤ICT支援事業	A	総務学校教育係	

		⑥A L T配置事業	A	総務学校教育係	
3	コミュニティーづくりの推進	①地域協働モデル支援事業の展開	A	社会教育係	
4	多様な生涯学習機会の確保	①ライフステージに応じた学習機会の確保	A	社会教育係	
		②関係機関等との連携による学習機会の確保	A	社会教育係	
		③世代間交流の充実	A	社会教育係	
5	スポーツ・レクリエーション活動の推進	①生涯スポーツの推進	A	社会教育係	
		②競技スポーツの推進	A	社会教育係	
		③総合型地域スポーツクラブの充実	A	社会教育係	
		④指導者の養成と資質の向上	A	社会教育係	
6	芸術・文化意識の高揚と活動の促進	①芸術・文化意識の高揚	A	社会教育係	
		②読書活動の推進	A	社会教育係	
7	歴史・文化遺産の保存	①文化財の現状把握	A	社会教育係	
		②郷土芸能や文化の継承	A	社会教育係	

※評価指標

- A： 目標は、十分達成された。
 B： 目標は、達成された。
 C： 目標は、十分に達成できなかった。
 D： 目標は、全く達成できなかった。

4, 平成29年度葛尾村教育委員会 重点施策の点検・評価シート

【1-①】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
「生きる力、生き抜く力の育成」を基本理念におき、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視した人材の育成		① 小・中・教委管理者会議の開催	
点検・評価項目		具体的実践事項	評 価
○ 必要性		・ 小・中学校長、教育長、次長の4人で毎月1回会議を開催し、学校経営、生徒指導、施設管理、教職員のサービス管理等教育行政全般にわたり情報を共有し、諸課題解決に迅速な対応を図っている。 ・ 小・中・教委の連携が図れ、行事等の日程調整やスムーズな教育行政執行に大いに役立っている。	Ⓐ・B・C・D
○ 有効性			Ⓐ・B・C・D
総 合 評 価			Ⓐ・B・C・D
成果と課題	・ 学校教育行政に関し、どんな些細な事柄も話し合い、また、情報を共有しながら迅速な問題解決にあたっており、適切な学校経営を行うにあたり効果的である。		

【1-②】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
「生きる力、生き抜く力の育成」を基本理念におき、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視した人材の育成		② 子ども国内交流体験研修派遣事業（おきなわ遊・YOU塾）	
点検・評価項目		具体的実践事項	評 価
○ 必要性		・ 様々な体験をとおして、広い視野と自立心、他人を思いやる素直な児童育成のため、参加者に補助金を交付している。 ・ 今年度は小学3～6年生を対象に、FCT主催のおきなわ遊・YOU塾に派遣し5名が参加した。 ・ 費用は1人あたり149,800円で保護者負担10,000円、村の補助金699,000円を支出した。	Ⓐ・B・C・D
○ 有効性			Ⓐ・B・C・D
○ 効率性			Ⓐ・B・C・D
総 合		評 価	Ⓐ・B・C・D
成果と課題	学校や家庭を離れ、同学年や異学年との交流や様々な体験を通して視野を広げたり、社会性を身に付けるためにも有効的な事業である。昨年度までは対象を小学5年生に限定していたが、小学3年生まで引き下げたことで、参加人数が5名に増えた。（平成28年度は2名参加）しかし、補助対象は一人につき1回のみであるため、大幅な参加者の増加は見込めない。		

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
「生きる力、生き抜く力の育成」を基本理念におき、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視した人材の育成		③ スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの配置	
点検・評価項目		具体的実践事項	評 価
○ 必要性 ○ 有効性		県の事業で小中学校に1名のスクールカウンセラーを配置し、様々な悩みや問題を抱える児童生徒や保護者、教職員に対し、年間156件のカウンセリングを行い、児童生徒への的確な支援のみならず、教職員のメンタルヘルス不調の未然防止にも努めた。 また、小学校では授業参観後に「スクールカウンセラーとの茶話会」を設け、子育てについて保護者の抱える悩みなど気軽に相談できる場面づくりと、保護者との連携体制を築き、児童の健やかな成長に向けた支援体制の構築を図ることができた。 中学校の「合同学活」の講師として授業を担当してもらい、「すてきな聞き方」をテーマに極少数の固定した人間関係では学べない、意識していない話の聞き方を見直す機会になり、社会性が未発達な生徒達に、的確で寄り添った指導・支援を展開することができた。	Ⓐ・B・C・D Ⓐ・B・C・D
総 合 評 価			Ⓐ・B・C・D
成果と課題	児童生徒の抱えている問題や悩みは年々複雑化しており、担任や教職員のみならず、スクールカウンセラーという立場から多角的に児童生徒の成長に関わってもらう必要がある。 小中学校が同一校で教育活動を行うことにより、連携しやすい環境の中で、小学校から中学校卒業まで一貫した指導・支援を行うためにもスクールカウンセラーの担う役割は大きい。		

重 点 施 策 名		事 務 事 業
「生きる力、生き抜く力の育成」を基本理念におき、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視した人材の育成		④ 児童生徒の健康管理 (心電図・寄生虫卵・尿検査)
点 検 ・ 評 価 項 目		評 価
○ 必要性 ○ 有効性	毎学年定期的に健康診断(内科、眼科、歯科)を実施し、園児・児童・生徒の疾病の早期発見に努め、健康管理の維持向上を図った。 尿検査と寄生虫卵検査は、園児9名・小学生9名、中学生14名、心電図検査は小学生9名、中学生14名を対象として実施した。	㊤・B・C・D ㊤・B・C・D

総 合 評 価		①・B・C・D
成果と課題	健康診断に基づき疾病の予防措置を行い、または治療を指示することにより、在籍する児童・生徒の健康管理に役立った。 学校医と検査結果の情報を共有し、家庭との連携も図りながら総合的に児童・生徒の健康管理を行うための体制を築いていく必要がある。	

【1-⑤】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
「生きる力、生き抜く力の育成」を基本理念におき、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視した人材の育成		⑤ かつらお村営塾 放課後子ども支援事業	
点検・評価項目		具体的実践事項	評 価
○ 必要性		【かつらお村営塾】 中学生を対象に、習熟度に合わせた学習支援を行い、補充的な学習や発展的な学習を展開することによって個々の能力を引き出し、進路実現に向けた選択肢の幅を広げることを目的としている。 民間から講師を派遣し、週2日から3日、午後4時から6時まで5教科の補習を実施しており、長期休業や学年末休業なども実施した。 【放課後子ども教室】 小学生を対象に、児童の放課後の居場所づくりと、様々な体験・交流・学習活動を通して、子どもたちが心豊かで健やかに育まれることを目的としている。 児童9名全員が参加しており、活動指導員3名が対応し、宿題仕上げや英語活動、工作、運動など、放課後の時間から午後6時まで実施している。 今年度より預かり保育を希望している園児も週2日参加し、小学生と一緒に活動し、交流を深めることができた。	Ⓐ・B・C・D
○ 有効性			Ⓐ・B・C・D
○ 効率性			Ⓐ・B・C・D
総 合 評 価			Ⓐ・B・C・D
成果と課題	【かつらお村営塾】 少人数のため、生徒の学習理解度に合わせた指導と、質問しやすく講師の目が行き届く環境のため、成績向上に結びついた。 進路実現に向けて目標を持って学習に取り組むことができ、志望校へ合格することができた。 【放課後子ども教室】 少人数の特色を活かし、家庭のような温かい雰囲気の中、安心して過ごすことのできる環境づくりに努めている。また、学年ごとに指導員を配置し、学年・習熟度別に対応することができた。 保護者との懇談や、担任との情報交換を行い、共通理解を図っているが、学校施設内で実施しているため、学校との連携を密にしていける必要がある。		

【 1 - ⑥ 】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
「生きる力、生き抜く力の育成」を基本理念におき、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視した人材の育成		⑥ 学校給食安心対策事業	
点検・評価項目		具体的実践事項	評 価
○ 必要性 ○ 有効性		・ 原発事故による放射性物質の拡散により、農作物への影響が生じ、学校給食の安心安全を確保するため、食材の検査を実施する検査員 1 名を配置した。 ・ 食材そのものと調理した給食のベクレル検査を実施した。 ・ 給食の調理業務を民間に委託し、調理員 2 名を配置し、栄養技師とともにおいしい給食を提供している。	Ⓐ・ B ・ C ・ D Ⓐ・ B ・ C ・ D
総 合		評 価	Ⓐ・ B ・ C ・ D
成果と課題	毎食ごとに給食物資の放射性物質検査を実施することで、安全で安心な給食の供給が図られた。		

【 1 - ⑦ 】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
「生きる力、生き抜く力の育成」を基本理念におき、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視した人材の育成		⑦ 幼稚園仮設園舎賃貸借	
点検・評価項目		具体的実践事項	評 価
○ 必要性 ○ 有効性		・平成25年度小中学校が旧要田中学校に開校したことに伴い、同一敷地内に仮設園舎を建設した。 ・賃貸借料は3,439千円であり2/3は国庫負担金、1/3は震災特別交付税で賄われている。	Ⓐ・B・C・D Ⓐ・B・C・D
総 合 評 価			Ⓐ・B・C・D
成果と課題	小・中学校と同一敷地内に建設したため、連携が取りやすく、園児・児童・生徒の交流が生まれ、相乗効果を得ることができた。		

重点施策名		事務事業	
「生きる力、生き抜く力の育成」を基本理念におき、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視した人材の育成		⑧ 葛尾村教育復興推進事業（スイミングスクール）	
点検・評価項目		具体的実践事項	評価
○ 必要性 ○ 有効性		ホシノスイミングスクール（田村市）との連携を図り、週1回受講することにより、体力向上のみならず、同世代との関わりをとおして、極少数では育むことのできない社会性や競争心を育成することを目的として実施した。 費用は児童の保護者に全額助成し、県の12市町村教育復興推進事業より全額補助を受けることができた。	Ⓐ・B・C・D Ⓐ・B・C・D
総合評価			Ⓐ・B・C・D
成果と課題	スイミングスクールを通して、体を動かすことの楽しさを味わい、児童の健やかな成長に寄与することができた。また、新体力テストの結果が前年度より向上する学年もあり、この事業が児童の体力向上の一翼を担った結果であると思われる。 9月に実施した、川内村、富岡町との水泳記録会においては、プールに足がつかない低学年の児童がビート板を使って泳いだり、昨年度は水に顔をつけることができない児童がクロールで泳ぎきるなど、スイミングスクールの成果が各所に出ていた。		

4. 平成29年度葛尾村教育委員会 重点施策の点検・評価シート

重点施策名		事務事業	
個性豊かな創造力を持ち、思考力、判断力、表現力に富み、自ら学び考え行動する人材の育成		① 奨学資金貸与事業	
点検・評価項目		具体的実践事項	評価
○ 必要性 ○ 有効性 ○ 効率性		・経済的な理由により、就学困難な者に対し、月額3万円以内を貸与する制度。 ・新規の貸与者はいなかった。 ・返還者の総人数は2名で、調定額は滞納分を合わせて1,100千円であり収入額は200千円、収納率は約18.2%となった。	Ⓐ・B・C・D Ⓐ・B・C・D A・Ⓑ・C・D
総合評価			Ⓐ・B・C・D
成果と課題	平成23年度より滞納していた1名が、定期的な電話や文書による連絡、連帯保証人への請求など様々な手立てを用いて督促した結果、こちらから提示した返還計画に沿って毎月返還金を納めるようになった。		

【2-②】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
個性豊かな創造力を持ち、思考力、判断力、表現力に富み、自ら学び考え行動する人材の育成		② 就学援助事業（被災児童生徒支援）	
点検・評価項目		具体的実践事項	評 価
○ 必要性		被災し、経済的理由により就学・就園が困難な児童生徒の保護者に対して助成金を交付する事業。 【就学支援事業（小・中学校）】 学用品費、学校給食費、通学費等総額6, 205千円を支給した。 【就園支援事業（幼稚園）】 保育料・入園料・給食費等3, 392千円を支給した。	Ⓐ・B・C・D
○ 有効性			Ⓐ・B・C・D
○ 効率性			Ⓐ・B・C・D
総 合 評 価			Ⓐ・B・C・D
成果と課題	事業の一部（6, 514千円）は、福島県被災児童生徒等就学支援事業補助金を受けることができた。		

【2-③】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
個性豊かな創造力を持ち、思考力、判断力、表現力に富み、自ら学び考え行動する人材の育成		③ スクールバス運行業務委託事業	
点検・評価項目		具体的実践事項	評 価
○ 必要性		園児・児童生徒の通学手段として、スクールバスを運行し、登下校以外でも、部活動や校外活動、各種行事などにも活用した。 【スクールバス路線（3系統）】 ①三春・郡山方面：西田町、岩江、復興住宅 ②葛尾方面：菅ノ又、湯ノ平 ③幼稚園バス：西田町、岩江、復興住宅 運行委託料10,600千円のうち一部（7,992千円）は、被災児童生徒等支援費事業（通学費）として補助を受けた。	Ⓐ・B・C・D
○ 有効性			Ⓐ・B・C・D
○ 効率性			Ⓐ・B・C・D
総 合 評 価			Ⓐ・B・C・D
成果と課題	家庭の通学環境の変化に対応し、運行経路や時間等を調整することができた。 スクールバス送迎により、登下校時の安全・安心が確保された一方で、毎日一定の距離を歩くことがなくなったことによる運動不足や肥満などが懸念される。		

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
個性豊かな創造力を持ち、思考力、判断力、表現力に富み、自ら学び考え行動する人材の育成		④ 教育環境施設整備事業	
点検・評価項目		具体的実践事項	評 価
○ 必要性 ○ 有効性		・ 葛尾中学校体育館災害復旧（新築）工事 427,863,600円 ・ 葛尾中学校体育館災害復旧（新築）工事 監理業務委託 10,692,000円 ・ 葛尾中学校校舎内装工事 4,968,000円 ・ 葛尾中学校校舎外構工事 18,794,160円 ・ 葛尾村学校プール新築工事 371,844,000円 ・ 葛尾村学校プール新築工事監理業務委託 8,100,000円 ・ 葛尾村学校プール外構工事 2,376,000円 ・ 葛尾幼稚園屋根修繕工事 4,860,000円 ・ 葛尾小学校校舎カーテン等備品購入 602,856円 ・ 葛尾中学校校舎カーテン等備品購入 1,836,864円	Ⓐ・B・C・D A・Ⓑ・C・D
総 合		評 価	A・Ⓑ・C・D
成果と課題	・ 児童生徒が安全で安心して授業や活動ができる環境の充実を図ることができた。 ・ 村での学校再開に向けて村内の施設整備が終了した。 ・ 中学校施設が利用されていないため、利用や管理について検討していく必要がある。		

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
個性豊かな創造力を持ち、思考力、判断力、表現力に富み、自ら学び考え行動する人材の育成		⑤ I C T支援事業	
点検・評価項目		具体的実践事項	評 価
○ 必要性		民間より I C T（情報通信技術）支援員 1 名を配置して、児童生徒が使用する ipad・電子黒板の点検、サーバー・無線などの機器点検や状況確認、H P 更新、ライブ授業のための準備などを日常的に行ったり、教職員の学習計画にあわせたソフトづくりなどを行った。	Ⓐ・ B ・ C ・ D
○ 有効性			Ⓐ・ B ・ C ・ D
○ 効率性			Ⓐ・ B ・ C ・ D
総 合		評 価	Ⓐ・ B ・ C ・ D
成果と課題	I C Tを活用した授業を行うための使用機器の点検の徹底及び活用により、授業の充実が図られ、児童生徒の学習への興味・関心を高めることができた。		

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
個性豊かな創造力を持ち、思考力、判断力、表現力に富み、自ら学び考え行動する人材の育成		⑥ A L T配置事業	
点検・評価項目		具体的実践事項	評 価
○ 必要性 ○ 有効性 ○ 効率性		A L T（外国語指導講師）を1名配置し、英語教育の充実と英会話に慣れ親しむ機会をつくり、日常的な会話や簡単な情報交換などができるようコミュニケーション能力を養い、児童生徒の英語の学力向上を図った。 【活動内容】 幼稚園：月1回程度のイングリッシュタイム 小学校：週1回程度の英語活動 中学校：週4日程度の英語授業 講師は民間より派遣委託し、1日7時間、年間238日間勤務した。	Ⓐ・B・C・D Ⓐ・B・C・D Ⓐ・B・C・D
総 合 評 価			Ⓐ・B・C・D
成果と課題	幼児期より英語に触れることで、小学校から始まる英語授業に対する抵抗感をなくすことや、楽しみながら英語を学ぶことは有用だった。 常勤のA L T配置により、授業以外でも日常的に外国人とコミュニケーションをとったり触れ合ったりすることで、英語を使った意志の疎通の楽しさを感じることができ、さらには今後のグローバル化に対応できる人材育成に貢献することができた。		

4, 平成29年度葛尾村教育委員会 重点施策の点検・評価シート

【3-①】

重点施策名		事務事業	
コミュニティづくりの推進		① 地域協働モデル支援事業の展開	
点検・評価項目		具体的実践事項	評価
○ 地域協働モデル支援事業を展開し、狐田の木工等作業場（夢工房葛桜）の有効活用を行う。		・夢工房葛桜において、見学者や木工体験者等を受け入れた。また工房は、住民の憩いの場としても活用されている。作った作品は、工房内はもとより、三春秋まつりやふたばワールドで販売するなど、生きがい作りにもなっている。	Ⓐ・B・C・D
総 合		評 価	Ⓐ・B・C・D
成果と課題	・仮設住宅で孤立しがちな村民（特に成人男性）が集まる機会を設けることにより孤立化防止と絆づくりに役立っている。 今後も、住民のための施設として当該施設を積極的に活用していく必要がある。		

【4-①】

重点施策名		事務事業	
多様な生涯学習機会の確保		① ライフステージに応じた学習機会の確保	
点検・評価項目		具体的実践事項	評価
○ 乳幼児期、青少年期、成人期、高齢期の各時期に応じた学習機会の確保を図る。		・乳幼児期 乳幼児期から絵本に触れて親子のコミュニケーションを深めるため、ブックスタート事業を実施。住民生活課と連携し、乳幼児へのブックスタート用絵本を提供した。 ・青少年期 わんぱく教室は、小学1年生～小学6年生を対象に4月から隔月で実施した。仮設住宅等での生活であるため、伸び伸びと子どもらしく活動できるよう、移動体験学習に重点を置き、新潟県マリンピア日本海での見学や、スキー教室等を実施した。	A・Ⓑ・C・D Ⓐ・B・C・D

	・ 青年期 地域スポーツクラブと連携した事業の開設に努めた。村民が各方面に避難している状況の中で、各種スポーツ大会の実施や市町村対抗軟式野球大会やソフトボール大会への参加などを通して、部員の絆を再確認することができた。 ・ 壮年期 女性学級による移動学習や健康講演会など年6回実施した。公民館で開設している各教室も自主的に運営を行い活発に活動を行っている。 ・ 高齢期 高齢者の学習意欲への対応並びに自らの生きがいを高めるための対策として「寿学級」の開設に努め、年6回実施した。健康の維持増進を図り、時代の動きを理解し積極的に仲間づくりをしながら、喜びと生きがいを求められるようなプログラムを設定し、移動学習や芸術鑑賞会などを行った。	㊤・B・C・D ㊤・B・C・D ㊤・B・C・D
総 合 評 価		㊤・B・C・D
成果と課題	・ 関係各課と連携し、乳幼児期から高齢期まで上記に掲げた事業を行った。窮屈な生活から少しでも離れるため、各学級や教室については、移動学習を多く取り入れたことにより参加者の増員が図られた。 ・ 今後も事業内容及び参加者にあった学習プログラムを提供するために、壮年期における男性の参加ができる企画も盛り込みながら、他機関と連携しつつ講座等の開設に努めていく必要がある。	

【4-②】

重 点 施 策 名	事 務 事 業	
多様な生涯学習機会の確保	② 関係機関等との連携による学習機会の確保	
点検・評価項目	具体的実践事項	評 価
○ 民間教育機関や各種団体などとの連携による学習支援体制を構築しながら、多様な学習機会の確保に努める。	・ わんぱく教室では、村内のそば打ち団体と連携して親子クッキングを行った。葛尾村と提携を結んだ東北大学農学部と連携して水田での生物観察も計画したが、天候により講師の調整がつかず、残念ながら中止することとなった。また、少年自然の家を活用し、スポーツク	㊤・B・C・D

	ラブのスタッフとスポーツ推進委員、教育関係者を講師としてスキー教室も開催した。 他機関との連携を図ることにより、子どもたちは学校や日常生活では体験できない様々な体験や、世代を超えた交流を図ることができた。	
総 合 評 価		㊤・B・C・D
成果と課題	・多くの外部団体の支援を受けて学習機会を確保し実施したことにより、通常体験できないことや世代を超えた交流などを行うことができ、参加者にとって学習の幅が広がった。 今後も、参加者のニーズに合わせながら、関係機関と連携しつつ学習の機会を提供する必要がある。	

【4-③】

重点施策名	事務事業	
多様な生涯学習機会の確保	③ 世代間交流の充実	
点検・評価項目	具体的実践事項	評価
○ 青少年と高齢者との交流など、世代間交流が図れるような事業内容に充実に努める。	・わんぱく教室では、そば打ち団体の方を講師に招き、「親子クッキング教室」を開催して一緒に食べ、世代を超えた交流が図られた。	㊤・B・C・D
○ 青少年の体験活動や住民活動等をサポートするため、村民の人材活用による学習支援ボランティアの充実に努める。	各仮設：パッチワーク／58名 わんぱく教室：そば打ち体験／2名 わんぱく教室／スキー教室／3名	㊤・B・C・D
総 合 評 価		㊤・B・C・D
成果と課題	・わんぱく教室の中で、学校や日常生活では経験できない様々な体験を通して協調性や仲間意識等が生まれていく姿が見受けられた。 ・学校が再開していることにより、支援ボランティアの活用も行うことができた。また住民へのボランティアでは、長引く避難生活の中で見出した手仕事への意欲を繋ぐことができているため、今後も継続して行うために支援ボランティアを充実させる必要がある。	

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
スポーツ・レクリエーション活動の充実		① 生涯スポーツの推進	
点検・評価項目		具体的実践事項	評 価
○ 村体育協会関係者との連携を図りながら、年齢や体力に応じて参加できるスポーツ大会を行う。		・葛尾村体育協会に対し社会教育補助団体として、650千円の補助金を交付し、各競技部主催5大会と市町村対抗軟式野球大会、市町村対抗ソフト大会及びふくしま縦断駅伝競争大会の参加に支援を行った。また、スポーツ推進委員の協力により「村民ふれあい教室」を実施し、スポーツに親しむ機会の少ない村民にレクリエーション等の活動機会を提供することができた。	Ⓐ・B・C・D
○ 関係機関と連携を図りながら、親子・世代・地域間の交流が深められる機会を提供する。		・関係機関の代表者で実行委員会を立ち上げ葛尾小中学校校庭において避難後3回目の「かつらお村民運動会」を行い、村民の交流を深めることができた。 平成15年以降中断していた村民体育祭の方式を変えたもので、参加者を紅白に分けて綱引きやリレーなどを行った。 *参加人数 約300名 *種 目 数 12種目 *そ の 他 ・送迎バス運行 ・軽食提供（婦人会）	Ⓐ・B・C・D
総		評 価	Ⓐ・B・C・D
成果と課題	・体育協会やスポーツクラブ会員が担う生涯スポーツの振興は、避難中である本村にとって非常に大きいものがある。 さらに、避難中でありながら村民運動会を実施できたことは、村民の繋がりを維持するために必要不可欠なことであり、今後もスポーツ団体への支援を継続し、組織を充実発展させる必要がある。		

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
スポーツ・レクリエーション活動の充実		② 競技スポーツの推進	
点検・評価項目		具体的実践事項	評 価
○ スポーツを通して健全な体と強い意志を養うとともに、集団活動を通し、協調性や社会性を培うため、スポーツ少年団や体育協会競技部の活性化を図る。		・ 村民大会を以下の内容で実施した。 5/12 グラウンドゴルフ大会 50 名 6/19 インディアカ大会 8 チーム 8/14 夏季親善野球大会 40 名 12/23 剣道錬成大会（35 周年記念大会） 7 団体 150 名 1/7 新春バレーボール大会 9 チーム その他 5/28 村民運動会 300 名 7/9 双葉郡スポーツ交流大会 （剣道・グラウンドゴルフ・野球） 9/16.24 福島県市町村対抗軟式野球大会 10/15 福島県市町村対抗ソフトボール大会 11/18 福島県縦断駅伝大会/希望ふくしま 村民の帰還がなかなか進まない状況の中、それぞれの体力に応じたスポーツを楽しむことができ、さらに市町村対抗福島県軟式野球大会、ソフトボール大会にも参加することができた。 また、スポーツ少年団の剣道も、毎月の月例稽古はもちろん、各種大会に参加している。	Ⓐ・B・C・D
総 合		評 価	Ⓐ・B・C・D
成果と課題	・ スポーツは運動をとおして互いに競い合うことに喜びを見出すことでもあるので、常に前向きな向上心を育成するためにも競技スポーツは意義が大きいことから、今後とも定期的開催する必要がある。		

【５－③】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
スポーツ・レクリエーション活動の充実		③ 総合型地域スポーツクラブの充実	
点検・評価項目		具体的実践事項	評 価
○ 地域住民の自主的運営による生涯スポーツを推進するため、子どもから高齢者までスポーツを通して交流できるスポーツクラブ活動の充実に努める。		・村の中心的なスポーツ事業の拠点となっているスポーツクラブの練習場所である借用体育館の維持管理に努めた。 また、地元住民との交流練習も始まり、自主的な活動とスポーツを通しての交流が図られた。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ・Ｄ
総 合		評 価	Ⓐ・Ｂ・Ｃ・Ｄ
成果と課題	・今後もスポーツの普及と振興を図るため、スポーツクラブと緊密な連携を図り、スポーツクラブが主催する各種スポーツ大会や行事等を支援し、環境の整備充実に努める必要がある。		

【５－④】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
スポーツ・レクリエーション活動の充実		④ 指導者の養成と資質の向上	
点検・評価項目		具体的実践事項	評 価
○ 生涯スポーツや競技スポーツ、レクリエーション、ニュースポーツなどの指導者の養成を図るとともに、資質の向上を図る。		・スポーツ推進委員の協力を得て、各スポーツ大会を実施した。 また、福島県スポーツ推進委員研究大会に参加したり、スポーツ推進委員指導者研修会に参加し、資質の向上が図れた。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ・Ｄ
総 合		評 価	Ⓐ・Ｂ・Ｃ・Ｄ
成果と課題	・スポーツ推進委員の協力を得ながらスポーツクラブと連携し、指導者の養成並びに資質向上のため、各研修会等へ積極的に参加したり、外部講習会へ参加し指導方法を習得して、指導者としての資質向上が図られた。		

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
芸術・文化意識の高揚と活動の促進		① 芸術・文化意識の高揚	
点検・評価項目		具体的実践事項	評 価
○ 近隣市町村で開催される芸術・文化活動などに関する情報を提供しながら、村民のニーズに対応した講演会や各種講座等の開催に努め、村民の芸術文化に対する意識の高揚を図る。		・わんぱく教室・寿学級等を積極的に展開し芸術鑑賞、史跡公園や文化財巡り等の機会を提供しながら、芸術文化に対する意識の高揚を図ったり、近隣市町村で開催される各種活動等の情報を随時提供した。 ・日頃の活動成果を発表する機会や交流の場の提供のため、「公民館まつり 2018」を以下の内容で実施した。当日は、多くの来場者で賑わった。 ＊日時・・・2月18日（日） ＊会場・・・村民会館大ホール ＊各教室生の発表 （大正琴、民謡、3 B 体操） ＊各学級の活動紹介及び作品展示 ・パッチワーク、生け花、夢工房、各集会所から作品展示 ・わんぱく教室、寿学級、女性学級 ふれあい教室の活動状況展示 ＊ステージショー 神野美佳 ＊講演会 三笑亭夢乃助 ＊婦人会・・・カレーライスの提供	Ⓐ・B・C・D Ⓐ・B・C・D
総 合		評 価	Ⓐ・B・C・D
成果と課題	・わんぱく教室や寿学級を積極的に展開することにより、芸術や文化に対する意識の高揚が図られた。 ・日頃の活動成果を発表する舞台である公民館まつりは、盛会に行うことができ、各教室生は日頃の活動の成果を披露し目的意識の達成が図られた。 今後も文化意識の高揚と村民の繋がりを維持するためにも、関係機関と連携（子どもの数が減少しているので、公民館まつりと学校行事のスクールフェスタを抱き合わせて実施することの検討等）を図りながら実施する必要がある。		

【 6 - ② 】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
芸術・文化意識の高揚と活動の促進		② 読書活動の推進	
点検・評価項目		具体的実践事項	評 価
○ 図書室の整備及び新図書を配備し、読書活動の推進に努める。		・ 葛尾の村民会館館図書室を再整備し、光を注ぐ交付金で購入した図書を配備し読書活動を推進した。	Ⓐ・B・C・D
		・ 県立移動図書館「あづま号」に年2回巡回してもらい、読書活動を推進した。	Ⓐ・B・C・D
総 合 評 価			Ⓐ・B・C・D
成果と課題	・ 移動図書館の巡回は、学校でも好評を得ているため、継続して巡回してもらう必要がある。 - また、購入図書を、幼稚園・小学校・中学校に配備したことにより、子どもたちが本に触れる機会が増え、読書活動への推進に大いに役立っている。 - 村民会館図書室も震災後閉館していたが、再整備したことにより帰還住民の読書活動の推進に寄与することができた。		

【 7 - ① 】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
歴史・文化遺産の保存		① 文化財の現状把握	
点検・評価項目		具体的実践事項	評 価
○ 村指定文化財等の現状を調査し、状況を把握して今後の修復の検討を進める。		・ 村指定文化財の「涅槃像掛軸」「大般若経理趣分経」「大般若経600巻」、金胴仏（指定外）を県立博物館に寄託し、文化財の保護に努めた。	Ⓐ・B・C・D
		また、大尽屋敷跡公園の破損した石垣の修繕、郷土文化保存伝習館の改修も実施し、文化財の保護環境を整備した。	Ⓐ・B・C・D
		・ 文化財等の確認 ※葛尾大尽屋敷跡修繕 ※郷土文化保存伝習館改修	
総 合 評 価			Ⓐ・B・C・D
成果と課題	・ 村の文化財の状況を確認し、被害を大きくしないよう文化財の保護に努めた。 - 今後も定期的に、文化財の状況確認を行い適切に対処していく必要がある。		

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
歴史・文化遺産の保存		② 郷土芸能や文化の継承	
点検・評価項目		具体的実践事項	評 価
○ 無形文化財や古くから伝わる風俗・民話・遊びなどの保存と継承に努める。		・無形民俗文化財「葛尾三匹獅子舞」は、地域の貴重な伝統芸能であり、保存・伝承にかかる支援を継続して行っている。 (年間3万円の補助金を交付) ・日山神社の例大祭時、下葛尾集会所にて三匹獅子舞を披露した。	Ⓐ・B・C・D Ⓐ・B・C・D
総 合 評 価			Ⓐ・B・C・D
成果と課題	・民俗文化財については、地域の過疎化や高齢化、避難による後継者不足への対策を講じながら、地域や学校などと連携し、各種イベントへの参加を促し、保存・継承に努める必要がある。 ・活動を休止している未指定の民俗文化財についても、保存・継承に努める必要がある。		

5、総合評価並びに評価結果の総括

教育委員会は、首長部局から独立した合議制の執行機関で、会議で決定した教育行政に関する基本的方針のもと、教育長及び事務局職員が広範かつ専門的な教育行政事務を執行する上で重要な役割を担っています。

このため、教育委員会が立てた基本方針にそって具体的な教育行政が執行されているかどうかについて、教育委員会自らが事後チェックする体制の必要性が高いものと考えられます。また、課題や取り組みの方向性を明らかにすることによって、村民への説明責任を果たし、村民に信頼される教育行政を推進する必要があります。

このようなことから、点検評価の対象は、「教育委員会が定めた平成29年度の重点施策」とし、以下のとおり実施しました。

点検・評価については、内部での検討会や客観性や公平性を確保するため、「有識者会議」の意見聴取を行いながら、教育委員会の会議で、具体的な点検項目によって評価を行うことが実態に即した評価であろうという結論に達しました。

各点検項目の具体性や評価の客観性については、事務事業の質的实施状況の把握が必須でありますので、事務局では重点施策の点検・評価シートを作成し、具体的実践事項として詳細に示しております。

重点施策の評価については、A・Bの評価は、効果的で適切な運営が行われており成果の達成度の高いもの、Cの評価は、達成度が不十分で見直しや改善の必要があるもの、Dの評価は、事業を実施しなかったものとなっています。

こうしたことを踏まえて、総務学校教育係の所管する事務事業においては、その事業の必要性・有効性・効率性を、社会教育係は事務事業の具体的実践目標を点検・評価項目としました。

総務学校教育係の所管する重点施策に対しての相対的な評価は、再開している葛尾村立小・中学校における平成29年度に実施した事業に関しては、全体として一定の成果が得られたものと解しております。しかし、依然として多くの子どもたちがいまだに県内各地に避難し、幼児・児童生徒の人数が少なく、学校経営に関わる課題もあります。今後も村民の信頼に応える教育を実現するためには、創意工夫を凝らした様々な取組を積極的に展開していくことが求められております。実態を詳しく把握するとともに新たなニーズに応じた教育施策の展開を図り、責任ある教育行政の推進に努めてまいります。

社会教育係の所管する重点事業の相対的な評価は、帰村率が低い中であるにもかかわらず、多くの事業を行い一定の成果が得られたものと解しておりますが、各種事業の実施に当たっては、誰もが参加しやすい条件づくりを考えながら、改善点等をチェックし、今後の事業に反映してまいりたいと考えております。

平成30年4月に村内で再開した幼稚園、小・中学校においては、これまで以上に教育水準の向上を図るとともに幼・小・中連携の下、次代を担う人材育成並びに子どもからお年寄りまで、村民みんなが生き生きと学び、輝く葛尾村の教育を目指した教育行政の展開に努力してまいります。